

これまでの在宅医療・介護連携推進協議会及び作業部会について

在宅医療・介護連携推進協議会は、地域社会全体で高齢者を支える仕組みである地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・介護関係者相互で在宅医療、介護に関する理解を深め、円滑な連携を図ることを目的に平成28年9月に設置された。

在宅医療・介護連携推進のための課題（①入退院に関するルール作り、②患者情報の共有方法の検討・ICTの活用、③研修、④普及・啓発）の解決に向け、それぞれの作業部会（4部会・計約60人）において協議を行っている。

1 行田市在宅医療・介護連携推進協議会 開催実績

第1回 平成28年9月12日（月）

【開会：18時30分、閉会：20時30分】行田市役所 305会議室

（会議の内容）

- ①在宅医療・介護連携推進事業の経過報告
- ②医師会受託の在宅医療提供体制充実支援事業および在宅医療連携拠点について
- ③在宅医療・介護連携の情報共有ツール「メディカルケアステーション」について
- ④第4回在宅医療・介護連携推進に係る合同意見交換会の内容について

第2回 平成29年7月27日（木）

【開会：19時00分、閉会：21時15分】行田市役所 203会議室

（会議の内容）

- ①介護保険法における地域支援事業「在宅医療・介護連携推進事業」8事業との関連について
- ②協議会の役割及び作業部会（ワーキンググループ：退院調整・ICT・研修・広報等）の創設について
- ③職種間のコミュニケーションルールについて
- ④情報共有ツール（メディカルケアステーション（MCS））の運用及び活用について
- ⑤介護予防・認知症施策の現状と今後について
- ⑥その他

第3回 平成29年12月21日（木）

【開会：19時00分、閉会：22時10分】行田市役所 305会議室

（会議の内容）

- ①作業部会の進捗報告
- ②作業部会での課題検討
- ③ その他

第4回 平成31年3月28日(木)

【開会：18時30分、閉会：21時00分】行田市役所 305会議室

(会議の内容)

- ① 在宅医療・介護連携推進にあたって前提となる市の方針（ビジョン）について
(消滅可能性都市対策と市民・庁舎内の危機感の共有、介護保険事業の進捗管理等自治体経営、地域共生社会に向けての変革)
- ② 第7期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況と保険者機能について
- ③ 第2期地域福祉推進計画の取り組み状況と評価について
- ④ 作業部会の進捗及び課題報告
- ⑤ 平成31年度在宅医療・介護連携推進事業について
- ⑥ その他

2 作業部会

本協議会の委員は他の医療、介護、福祉の専門職約50名と共に下記の4部門の作業部会に分かれ、各部会に2名ずつ所属しながら部会内の中心的な存在として会議の開催の決定や会議の司会進行、調整等を行っている。

【作業部会実績・活動内容】

部会名	協議及び実施内容	開催数
入退院調整部会 ・円滑な入退院調整 ・市民が安心できる 入退院と在宅復帰	H29 ・入院時連絡シート、退院時連絡シートの必要性の有無について ・様式の検討および作成。 参考例：太田市、鹿児島市等	H29 2回
	H30 ・市民が円滑に入退院できる仕組みの検討 「市民と医療・介護連携のための行田市入退院調整手引き」第1版作成 説明会3回(ケアマネ連絡会、市内2病院) H30年10月1日～本稼働	H30 2回
患者情報共有・ICT部会 ・市民が安心できる 医療、介護体制構築 ・市民、家族と多職 種の円滑な情報共有	H29 ・MCSの利用方法について 部会員より、普及のために「うきしろ医療・介護グループ」(仮称)：現 「うきしろネット」を作成し、全ケアマネ、全介護事業所等登録しておき、 患者グループができたときに医師が招待しやすいようにしておくのはど うかとの提案あり、 MCSの使い方の研修会が必要。 ・紙ベースでの患者情報共有方法の検討 在宅療養手帳又はエンディングノートの必要性の有無 ・利用者自身が、入院時に持参するものか。 ・家族構成、キーパーソンを記載するか。 ・在宅療法、逝き方の希望記載欄を設けるか。 参考例：秩父市「私の療養手帳」、認知症疾患医療センター済生会鴻巣 病院「認知症ノート」、前橋市「私の手帳」	H29 4回
	H30 ・MCSの利用方法、普及。 ※行田市在宅医療・介護連携支援センターにて事務を代行。医師に代わ り関係者を招待し活用を図っている。	H30 5回

	<p>・多職種が、在宅患者（利用者）を本人及び家族を交えて、共有するためのノート作成「～笑顔でゆくために～「わたしの人生ファイル」（行田市在宅医療介護連携）」作成</p> <p>H31（R1）</p> <p>・「わたしの人生ファイル」利用促進を検討するとともに、各職種連絡会への説明及び依頼するとともに、6月の医師会主催の健康フォーラムにおいても講演やパネル展示にて周知が図られた。</p> <p>※R2.1月現在 利用者18名</p>	<p>H31（R1）</p> <p>3回</p>
<p>ふらっと（研修）部会</p> <p>・市民が安心できる医療、介護体制構築</p> <p>・医療、介護が相互理解し連携できる。</p>	<p>H29</p> <p>・研修の内容の検討 ①移乗研修 ②口腔ケア ③認知症</p> <p>・開催頻度 1回/3～4カ月</p> <p>H30</p> <p>・多職種が連携するための研修、相互理解の研修、多職種の顔の見える関係構築のための研修の企画検討</p> <p>第1回、第2回研修会「摂食嚥下研修」Ⅰ・Ⅱ</p> <p>第6回行田市在宅医療介護連携推進に係る多職種合同意見交換会</p> <p>第3回研修会「医療・介護の連携強化に向けた施策動向とそのポイント」</p> <p>H31（R1）</p> <p>・第1回研修会「介護保険を知ろう～わたしの人生ファイル～」</p> <p>・第2回研修会「歯科衛生士が伝えたい！知って得する口腔ケア～最期まで美味しく食べるために～」</p> <p>「摂食嚥下研修」Ⅲ</p> <p>・紹介VTR自主制作「介護保険を知ろう～わたしの人生ファイル～」</p>	<p>H29</p> <p>3回</p> <p>H30</p> <p>6回</p> <p>H31（R1）</p> <p>4回</p> <p>※VTR撮影除く</p>
<p>普及啓発部会</p> <p>・地域包括ケアシステム、在宅医療・介護連携についての理解、市民への普及啓発</p>	<p>H29</p> <p>・「介護保険」パンフレットの配布、設置場所の検討</p> <p>・広報誌発行の検討：発行頻度は3～4カ月毎。</p> <p>A4両面程度のもの、配布は自治会回覧。設置場所として医療機関（内科、歯科、薬局）</p> <p>H30</p> <p>在宅医療・介護連携推進事業広報誌「行田人」自治会回覧、関係機関配布</p> <p>第1号誌：平成30年6月12日 5,000部</p> <p>第2号誌：平成30年11月14日 9,500部</p> <p>第3号誌：平成31年3月13日 9,700部</p> <p>H31（R1）</p> <p>第4号誌：令和元年7月5日 9,500部</p> <p>第5号誌：令和元年11月8日 9,500部</p> <p>第6号誌：令和2年3月上旬 9500部※予定</p>	<p>H29</p> <p>4回</p> <p>H30</p> <p>4回</p>
<p>※病院・有床部会</p>	<p>H30</p> <p>「市民と医療・介護連携のための行田市入退院調整手引き」</p> <p>第1版作成におけるシート作成による情報連携方法及び説明会実施の協議</p>	<p>H30</p> <p>1回</p>